JIS C 8955:2017通合 のお知らせ



これまで JIS C 8955:2004

2019 3/1以降 JIS C 8955: 2017

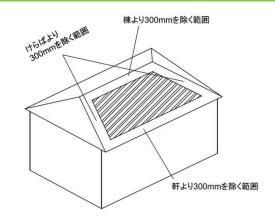
設置範囲の変更&新基準適合の金具利用

昨年 10 月 1 日の JIS 基準一部の改正後も、これまでの JIS C 8955:2004 を 部材の出荷基準として対応して参りましたが、この度新基準に対応する準備が 整いましたので 2019 年 3 月 1 日出荷分より すべての太陽光架台施工を JIS C 8955:2017 に適合した基準に改訂させていただくことになりました。

※改訂に伴い、

新基準に適合することができないアンダールーフは販売終了とさせていただきます。 新基準に適合した架台への変更をお願いいたします。

改訂の要点● 新基準への改定

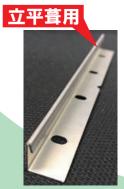


棟·軒250mm けらば200mm は範囲外 旧

棟·軒·けらば 300mm は範囲外

最小屋根寸法表。http://urx2.nu/00i5

改訂の要点② 補強クリップ併用、又は支持点数を増やす



2019年 2月15日出荷開始

50セット

価格: ¥37,500

(送料・消費税別)

専用発注書 http://urx2.nu/00ia

「嵌合立平」は 補強クリップを併用して設置 それ以外は支持点数を増やして設置

新買取単価に対応した 新ゼロセッチ徹底解説

51ソーラー蓄電池 _

ブロック会議の内容を振返り

見なきゃダメだ見なきゃダメだ見なきゃダメよ 新プランのお得感を徹底解説 新しい申込方法と確認事項

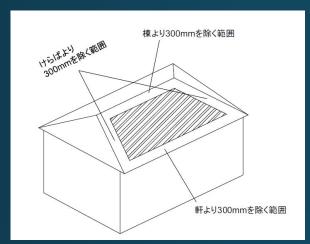


※2/28 予定のS I ソーラー NEWS にて動画のURLを配信します。お好きな時にご覧いただけます。

JIS C 8955:2017に適合した施工基準の改定

平成30年10月1日、経済産業省より公布されました「電気設備の技術の解釈」の一部 改正について、SIソーラーでは改正後もこれまでのJISC 8955:2004を部材の出荷 基準で対応してまいりましたが、この度新基準に対応する準備が整いましたので、 **2019年3月1日出荷分**より、JISC 8955:2017に適合した基準に改訂させていただく ことになりました。

[POINT1]



適応範囲外(設置不可範囲)の改定

これまで 棟・軒250mm けらば200mmは範囲外



新基準 軒・棟・けらば **300mm** は範囲外

すべての架台が対象になります。

[POINT2]

新基準は従来より要求強度が上がっているので、通常は架台の支持点数が増えてしまいます。しかし、SIソーラーでは出荷量が圧倒的に多い「嵌合立平」に限り、補強クリップを併用して設置していただく事で、従来と同程度の支持点数で新基準に適合することが出来ます。ゼロセッチ2019には、補強クリップを併用して設置してください。

(補強クリップを併用しない場合は、施工基準書の支持点数を守って施工してください) それぞれの条件別設置基準書でご確認ください。

補強クリップ



2019年2月15日出荷開始予定

価格:50セット ¥37,500(送料・消費税別)

※ 専用発注書はe-ishinよりダウンロード出来ます。

屋根別施工基準書早見表

くゼロセッチ>

モジュール 屋根材	LONGi 1650×991×40	サンパワー 1559×1046×46	AUO 1640×992×40	AUO 325Wのみ 1696×1022×40
嵌合式立平 補強クリップあり		+		
嵌合式立平 補強クリップなし		-		

<ペイセッチ>

モジュール 屋根材	LONGi 1650×991×40	サンパワー 1559×1046×46	AUO 1640×992×40	AUO 325Wのみ 1696×1022×40		
嵌合式立平 補強クリップあり	B D-SWAT設置基 準書(補強クリップエ法					
嵌合式立平 補強クリップなし	C D-SWAT設置基 準書(補強クリップなし					
横葺・段葺 立平葺 (ハゼ式・嵌合式) 瓦棒葺 ハゼ式折版 嵌合折版						
瓦施工 金属屋根(レール) スレート施工	D SIソーラー太陽 光1650×991×40 v	E SIソーラー太陽光 1559×1046×46 v	2月末頃 公開予定	_		

※ アンダールーフは製品の特性上、JIS 8955:2017に適合することが 出来ませんので今回の改訂をもちまして販売終了とさせていただきます。